

PHILIPS

サウンドバー

8000 シリーズ

TAB8750



取扱説明書

製品を登録し、サポートを受けるには、以下にアクセスしてください。

www.philips.com/support

目次

1	安全性に関する重要な注意事項	3	5	製品仕様	21
	安全性	3			
	製品のお手入れ	5			
	環境への配慮	5	6	トラブルシューティング	22
	適合宣言	5			
	ヘルプとサポート	5	7	商標	24
2	本製品について	6	8	保証書	25
	パッケージ内容	6			
	サウンドバー	6			
	コネクター	7			
	ワイヤレスサブウーファー	7			
	ワイヤレスサラウンドスピーカー	8			
	リモコン	8			
	リモコンの準備	9			
	設置	10			
	壁面取り付け	11			
3	接続	12			
	Dolby Atmos®	12			
	HDMI 接続	13			
	光ケーブル接続	14			
	AUX 接続	14			
	電源への接続	14			
	サブウーファーとワイヤレスサラウンドスピーカーのペアリング	15			
4	サウンドバーの使用	16			
	ON と OFF	16			
	モードの選択	17			
	音量の調整	17			
	Bluetooth® 操作	19			
	外部機器での再生	20			
	USB を使用したオーディオの再生	20			

1 安全性に関する重要な注意事項

製品を使用する前に、すべての指示を読んで把握しておいてください。損傷が発生しても、指示に従わなかったことが原因の場合、保証は適用されません。

安全性

安全記号について把握する

マーキング情報は、製品の下部または背面にあります。

	注意 感電の危険があります 開けないでください	
注意：感電の危険を減らすため、カバー（または背面）は絶対に取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格を持つサービス担当者に依頼してください。		



これは二重絶縁を備えたクラスII装置です。ただし保護接地は備えていません。



AC 電圧



詳細については、取扱説明書を参照してください。取扱説明書に記載されている電源のみを使用してください。



警告

警告：感電の危険があります。



エクスクラメーションマーク（!）は、重要な操作上の指示があることをユーザーに警告することを意図しています。



USB データポート。



この記号は省エネマークを示しています。



この記号は DC 電源コネクターの極性を示しています。



屋内専用です。

感電や火災の危険

- 接続を確立または変更する前に、すべての機器を電源コンセントから外しておいてください。
- 本製品および付属品を雨や水にさらさないでください。液体が入った容器（花瓶など）を本製品の近くに置かないでください。液体が本製品の上にこぼれたり内部に入ったりした場合は、直ちに電源コンセントを抜いてください。本製品の使用前に点検を受けるには、お客様情報センターにお問い合わせください。
- 本製品および付属品は、裸火などの熱源（直射日光を含む）の近くに置かないでください。
- 本製品の換気口などの開口部に物を挿入しないでください。
- 主電源プラグまたは電源接続器を切断装置として使用する場合は、切断装置をすぐに操作できる状態にしておいてください。
- 電池（取り付けた電池パックまたは電池）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 雷が発生しそうな場合は、その前に、本製品の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを抜くときには、必ずプラグを掴んで引いてください。ケーブルは絶対に引っ張らないでください。
- 本製品は熱帯または温帯の地域で使用してください。

ショートや火災の危険

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または底面にある型式プレートを参照してください。
- 本製品を電源コンセントに接続する前に、電源電圧が製品の背面または底面に印刷されている値と一致しているようにしてください。電圧が異なる場合は、本製品を電源コンセントに接続しないでください。

怪我や本製品損傷の危険

- 本製品を壁面に取り付ける場合は、設置についての指示に従って壁にしっかりと固定してください。付属の壁面取り付けブラケットのみを使用してください（ある場合）。壁面取り付けが不適切だと、事故、負傷、または損傷が発生することがあります。ご不明な点は、お住まいの国のお客様情報センターまでお問い合わせください。
- 本製品や物を電源コードの上、または他の電気機器の上に置かないでください。
- 本製品が5°C未満の気温で輸送されてきた場合は、製品を開梱して製品が室温と同じ温度になるのを待ってから電源コンセントに接続してください。
- 本製品にはガラス製の部品が使用されている場合があります。負傷や損傷を防ぐため、十分注意して取り扱ってください。

オーバーヒートの危険

- 本製品は絶対に閉鎖空間内に設置しないでください。製品の周囲には10 cm（4 インチ）以上の隙間を空けておき、換気ができるようにしてください。カーテンなどの物によって本製品の換気スロットが覆われることがないようにしてください。

電池の使用に関する注意

- 注意：正しくない電池交換をした場合には、爆発の危険があります。同じまたは同等のタイプの電池と交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池には化学物質が含まれています。リサイクルまたは廃棄については、国や地域のガイドラインに従ってください。
- 装置に記されている「+」および「-」のマークに従って、すべての電池を正しく取り付けてください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池（カーボン亜鉛電池）、または充電式電池（Ni-Cd、Ni-MH など）を混ぜて使用しないでください。
- バッテリー（バッテリーまたはバッテリーパック）は、日光、火などの過度の熱にさらさないでください。
- 電池を廃棄するときには、燃やしたり焼却炉で処理したり、機械的に潰したり切断したりしないでください。
- 電池を極端に低い気圧下で管理しないようにしてください。

注

- 定格ラベルは、機器の底面または背面に貼り付けられています。

製品のお手入れ

本製品のクリーニングにはマイクロファイバークロスのみを使用してください。

環境への配慮

古くなった製品や電池の廃棄



本製品は、リサイクルと再利用が可能な高品質の素材とコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品のこの記号は、製品が欧州指令 2012/19/EU の対象となっていることを意味します。



この記号は、製品に欧州規則 (EU) 2023/1542 の対象となるバッテリーが含まれており、通常の家ごみと一緒に廃棄できないことを意味します。

電気／電子製品および電池の廃棄については、地域の分別収集システムを把握しておいてください。地域の規則に従い、本製品や電池を通常の家ごみと一緒に廃棄しないでください。古い製品や電池の廃棄が適切であれば、環境や人の健康に悪影響を及ぼすことがなくなります。

使い捨て電池の取り外し

使い捨て電池を取り外すには、電池の取り付けに関するセクションを参照してください。

適合宣言

本製品は、欧州共同体 (EC) の無線干渉要件に準拠しています。

これにより、TP Vision Europe B.V. は、製品が RED 指令 2014/53/EU および英国無線機器規則 SI 2017 No 1206 の必須要件およびその他の関連規定に準拠していることを宣言します。適合宣言は www.philips.com/support にあります。

ヘルプとサポート

www.philips.com/support にアクセスすると、次のような広範なオンラインサポートを受けることができます。

- 取扱説明書とクイックスタートガイドをダウンロードする
- ビデオチュートリアルを視聴する（一部のモデルのみについて提供）
- よくある質問 (FAQ) から回答を探す
- 質問をメールで送信する
- サポート担当者とチャットする

Web サイトの指示に従って言語を選択し、製品のモデル番号を入力します。

お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせいただくこともできます。お問い合わせいただく前に、製品のモデル番号とシリアル番号を書き留めておいてください。この情報は製品の背面または底面にあります。

2 本製品について

フィリップス製品をご購入いただきありがとうございます。フィリップスが提供するサポートを最大限に活用していただくために、ご購入のサウンドバーを以下でご登録ください。www.philips.com/support

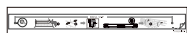
パッケージ内容

次の品目がパッケージに入っていることを確認してください。

- サウンドバー × 1
- ワイヤレスサブウーファー × 1
- ワイヤレスサラウンドスピーカー × 2
- リモコン (単4電池×2) × 1
- 壁面取り付けテンプレート × 1
- 壁面取り付けキット × 2
- HDMI ケーブル × 1
- 電源ケーブル × 2
- アダプター × 2
- クイックスタートガイド／保証書／安全シート × 1



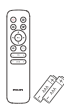
サウンドバー



壁面取り付けテンプレート



ワイヤレスサブウーファー



リモコン
(単4形電池×2)



壁取り付けネジ×4
壁用アンカー×4



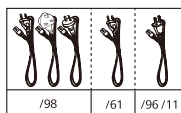
ワイヤレスサラウンド
スピーカー



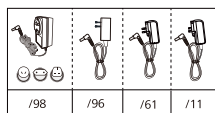
HDMIケーブル



クイックスタートガイド
保証書／安全シート



電源ケーブル×2
(サウンドバーとサブウーファー)

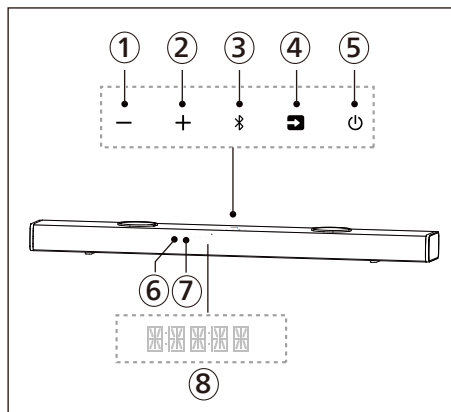


アダプター×2
(サラウンドスピーカー)

- 電源コードの数とプラグのタイプは地域によって異なります。
- 本取扱説明書に記載されている画像および図は、あくまで参考であり、実際の製品の的外観は異なる場合があります。
- 付属の電源ケーブルは本製品専用です。他の製品には使用しないでください。

サウンドバー

このセクションでは、サウンドバーの概要について説明します。

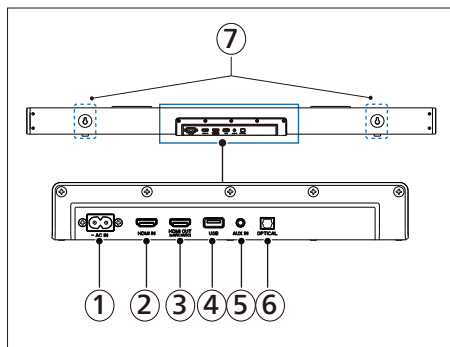


- ① - (音量) ボタン
音量を下げます。
- ② + (音量) ボタン
音量を上げます。
- ③ * (Bluetooth) ボタン
 - Bluetooth モードを選択するときを押します。
 - 3 秒間長押しすると、Bluetooth ペ어링モードになります。
 - 8 秒間長押しすると、すべての機器が切断され、BT 接続履歴リストがクリアされ、ペ어링モードになります。
- ④ ➡ (ソース) ボタン
サウンドバーの入力ソースを選択します。

- ⑤  (スタンバイ-オン)
 - サウンドバーの電源をオンにするか、スタンバイ状態にします。
- ⑥ リモコンセンサー
- ⑦ 電源 LED
- ⑧ 表示パネル

コネクター

このセクションでは、サウンドバーで使用するコネクターの概要について説明します。

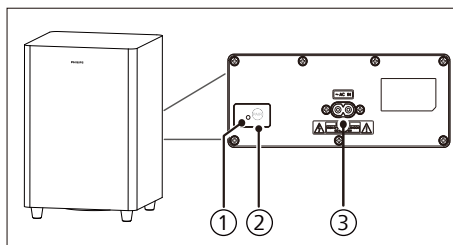


- ① AC~ ソケット
電源に接続します。
- ② HDMI IN (HDMI 入力)
DVD プレーヤー、Blu-ray Disc™ プレーヤー、ゲーム機などの HDMI ソース機器に接続します。
- ③ HDMI OUT (HDMI 出力) (eARC/ARC)
テレビの HDMI 入力に接続します。
- ④  USB
 - USB ストレージ機器からのオーディオ入力。
 - 本製品のソフトウェアをアップグレードするためにも使用します。
- ⑤ AUX IN (AUX 入力)
MP3 プレーヤー (3.5 mm ジャック) などからのオーディオ入力。

- ⑥ OPTICAL (光)
テレビまたはデジタル機器の光オーディオ出力に接続します。
- ⑦ 壁掛けブラケットスロット

ワイヤレスサブウーファー

このセクションでは、無線サブウーファーの概要について説明します。



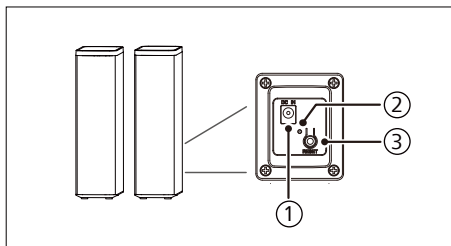
- ① サブウーファーインジケーター
ワイヤレスサブウーファーのインジケーターに基づいてステータスを確認します。

LED の状態	ステータス
速く点滅	ペアリング状態に入っている
点灯	ペアリング済み
ゆっくりと点滅	ペアリングされていない状態
非常にゆっくりと点滅	スタンバイ状態

- ② Pair (ペアリング) ボタン
長押しすると、サブウーファーのペアリングモードになります。このボタンは手動ペアリングにのみ使用します。(ユニットの電源を [ON (オン)] にするとサウンドバーとサブウーファーは自動的にペアリングされるため、[Pair (ペアリング)] ボタンを押さないでください)
- ③ AC in ~ (AC~ 入力) ソケット
電源に接続します。

ワイヤレスサラウンドスピーカー

このセクションでは、ワイヤレスサラウンドスピーカーの概要について説明します。



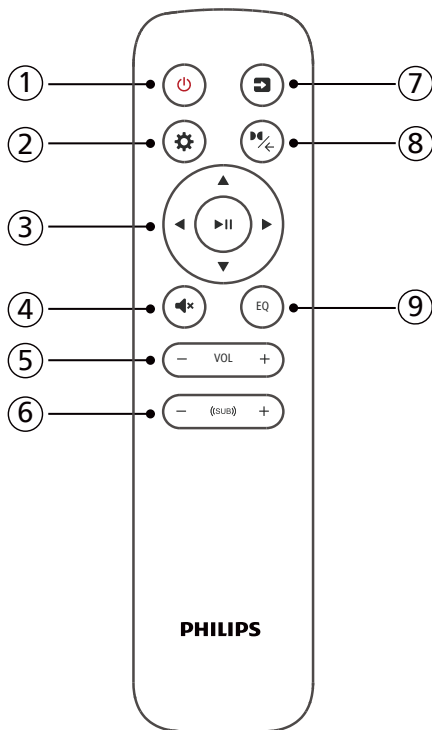
- ① DC in (DC 入力)
アダプターに接続します。
- ② サラウンドスピーカーインジケータ
ワイヤレスサラウンドスピーカーのインジケータでステータスを確認します。

LED の状態	ステータス
速く点滅	ペアリング状態に入っている
点灯	ペアリング済み
ゆっくりと点滅	ペアリングされていない状態
非常にゆっくりとした点滅	スタンバイ状態

- ③ ペアリング方法
[Reset (リセット)] を 3 秒間長押しすると、サラウンドスピーカーのペアリングモードになります。このモードは手動ペアリング操作にのみ使用します。(ユニットの電源を [ON (オン)] にするとサウンドバーとサラウンドスピーカーは自動的にペアリングされるため、[Reset (リセット)] ボタンを押さないでください)

リモコン

このセクションでは、リモコンの概要について説明します。



- ① ㊦ (スタンバイ - オン) ボタン
サウンドバーをオンまたはスタンバイに切り替えます。
- ② ⚙ (メニュー)
設定メニューに入ります。
- ③ ◀▶ (前へ/次へ)
 - USB/BT モードで前または次のトラックにスキップします。
 - メニュー内で左/右に移動します。▶⏮ (再生/一時停止)
 - USB/BT モードで再生を開始、一時停止、または再開します。
 - 選択を確定します。

▲/▼ (上/下)

メニュー内で上/下に移動します。

④

ミュートします/音量を元に戻します。

⑤ VOL +/- (システムの音量)

システムの音量を調整します。

⑥ (SUB) +/- (サブウーファースの音量)

サブウーファースの音量を調整します。

⑦ (ソース)

- サウンドバーの入力ソースを選択します。
- 3 秒間長押しすると、Bluetooth モードでペアリング機能が有効になります。
- Bluetooth モードでは、8 秒間長押しすると、すべての機器が切断され、BT 接続履歴リストがクリアされ、ペアリングモードになります。

⑧ (チャンネル切り替え/戻る)

メニューモード以外のとき、Dolby ボタンを短押しすると、3.1ch と 7.1.4ch を切り替えることができます。詳細は以下のとおりです。

- 検出された信号が PCM/MP3 などのフォーマットの場合、Dolby ボタンを短押しすると、3.1ch と 7.1.4ch を切り替えることができます。
- 検出された信号が DD ATMOS/DD+/DD HD/MPCM などのフォーマットの場合、Dolby ボタンを短押ししても切り替えはできません。

→ 切り替えができない場合は、「DOES NOT ALLOW SWITCH (切り替えできません)」というメッセージがスクロール表示されます。

- 前のメニューに戻ります。メニューを終了します。

⑨ EQ (モード)

4つの EQ モードから選択します：

- ENTERTAINMENT
- MUSIC
- DIALOGUE
- ORIGINAL

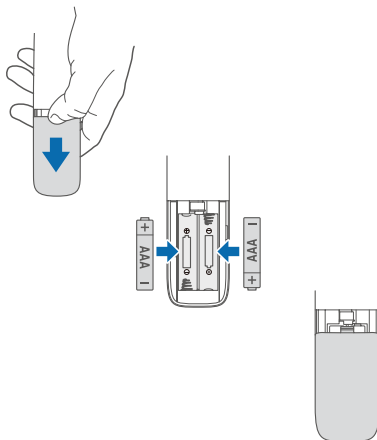
リモコンの準備

- 付属のリモコンを使用すると、離れた場所からでもユニットを操作できます。
- 有効範囲の 6 m (19.7 フィート) 以内でリモコンを操作していても、ユニットとリモコンの間に障害物がある場合には、リモコンの操作ができなくなることがあります。
- 赤外線が発生する他の製品の近くでリモコンを操作している場合、または赤外線を使用した他のリモコン装置がユニットの近くで使用されている場合には、リモコンが正しく動作しないことがあります。逆に、他の製品側が正しく動作しないことがあります。

リモコンの電池を交換する

電池収納部のカバーをスライドさせて取り外し、正しい極性で単 4 電池 (1.5 V) 2 本を挿入してから、電池収納部のカバーを元の位置までスライドさせます。

- 電池の「+」側と「-」側が、電池収納部に表示されている「+」側と「-」側に一致していることを確認します。



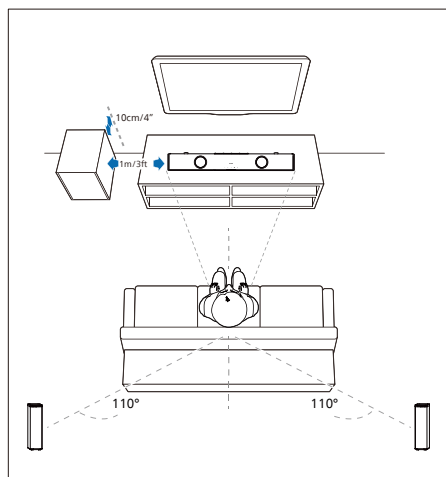
電池に関するご注意

- 電池は、正の ⊕ と負の ⊖ の極性が正しい状態で挿入してください。
- 同じタイプの電池を使用してください。タイプの異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 充電式電池パックと非充電式電池パックのどちらも使用できます。ラベルの注意事項を参照してください。
- 電池カバーと電池を取り外すときには、爪を痛めないように注意してください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンに何らかの衝撃が加わらないようにしてください。
- リモコンの上に水や液体をこぼさないでください。
- リモコンを濡れている物の上に置かないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所や、高温になる熱源の近くに置かないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、腐食や電池の液漏れが発生し、怪我、物的損傷、火災などの原因となる可能性があるため、リモコンから電池を取り出しておいてください。
- 指定の電池以外は使用しないでください
- 新しい電池を古い電池と一緒に使用しないでください。
- 充電式であることが確認できない電池は、絶対に充電しないでください。

設置

サブウーファーは、サウンドバーから少なくとも 1 m (3 フィート)、壁からは 10 cm 離して設置します。

最適な音響効果を得るには、下の図のようにサブウーファーを配置します。

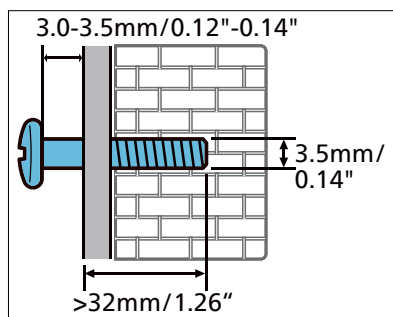


壁面取り付け

注

- 壁面取り付けが不適切だと、事故、負傷、または損傷が発生することがあります。ご不明な点は、お住まいの国のお客様情報センターまでお問い合わせください。
- 壁面に取り付ける前に、壁がサウンドバーの重量を支えられることを確認してください。
- 壁面に取り付ける前に、サウンドバーの底部にあるゴム製の脚を取り外す必要はありません。ゴム製の脚は取り外すと元に戻すことができます。
- 壁面取り付けのタイプに応じて、適切な長さと同径のネジを使用してください。
- サウンドバーの背面にある USB ポートが USB 機器に接続されているかどうかを確認してください。接続された USB 機器が壁面取り付けに影響を与える場合は、適切なサイズの別の USB 機器を使用する必要があります。

サウンドバーのネジの長さ／直径

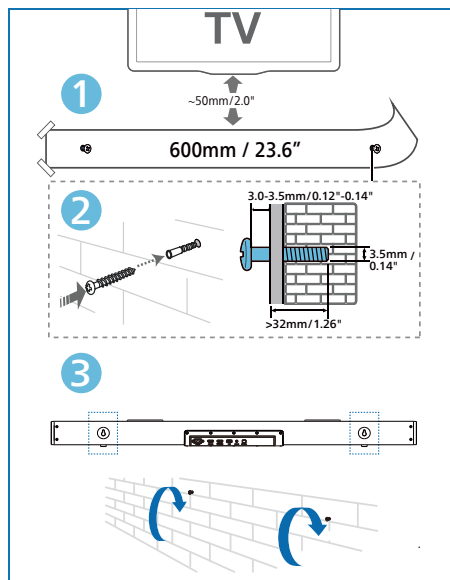


推奨の壁面取り付け高さ

サウンドバーを壁面に取り付ける前に、まずテレビを取り付けることをお勧めします。テレビが事前に設置された状態で、テレビの底面から 50 mm (2.0 インチ) 離れた壁面にサウンドバーを取り付けます。

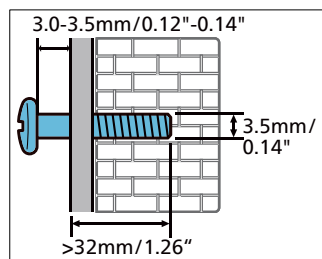
警告

- けがを防止するため、本装置は設置についての指示に従って床／壁面にしっかりと固定する必要があります。
- 推奨の壁面取り付け高さ：1.5 m 以下。



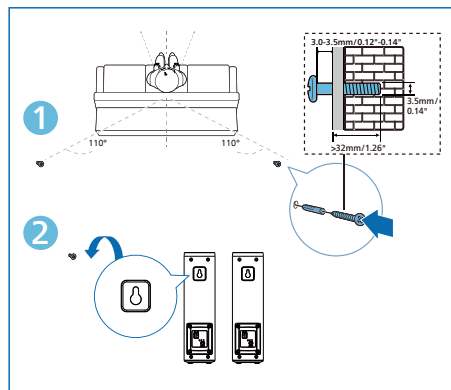
- 1 壁に2つの平行な穴（それぞれ $\phi 3 \sim 8 \text{ mm}$ ）をドリルで開けます。
 ↳ 穴間の距離は次のとおりです。
600 mm。
 ↳ この寸法は、壁に穴を開ける位置の目安としてください。
- 2 ダボとネジを穴に固定します。
 ↳ 壁とネジの頭の間に **3.0 ～ 3.5 mm** の隙間を必ず空けてください。
- 3 サウンドバーを取り付けネジに掛けます。

サラウンド R/L のネジの長さ／直径



サラウンド R/L の推奨壁掛け角度

リスニング位置から見て、左右のサラウンドスピーカーの推奨角度は 110 度です（下図参照）。



- 1 壁に2つの平行な穴（壁の種類に応じて
φ3～8 mm）をドリルで開けます。
→ ダボとネジを穴に固定します。
- 2 サラウンド R/L を取り付けネジに掛けます。

3 接続

このセクションでは、サウンドバーをテレビやその他の機器に接続してセットアップする方法について説明します。

サウンドバーとアクセサリの基本的な接続については、クイックスタートガイドを参照してください。

注

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または底面にある型式プレートを参照してください。
- 接続を確立または変更する前に、すべての機器を電源コンセントから外しておいてください。

Dolby Atmos®

Dolby Atmos は、3 次元空間で、豊かでクリアで迫力ある Dolby サウンドをあますところなく再生して、臨場感あふれるリスニング体験を実現します。

詳細については、dolby.com/technologies/dolby-atmos をご覧ください

Dolby Atmos® を使用する場合

Dolby Atmos® は HDMI ARC/eARC モードでのみ使用できます。接続の詳細については、「HDMI 接続」を参照してください。

- 1 HDMI/HDMI ARC モードで Dolby Atmos® を使用するには、テレビが Dolby Atmos® をサポートしている必要があります。
- 2 接続されている外部機器（Blu-ray DVD プレーヤー、テレビなど）のデジタルオーディオ出力のビットストリームとして「エンコーディングなし」が選択されていることを確認してください。
- 3 Dolby Atmos/Dolby Digital フォーマットの信号が入力されると、サウンドバーには「DOLBY ATMOS」、「DOLBY AUDIO」、または「DOLBY SURROUND」と表示されます。

注

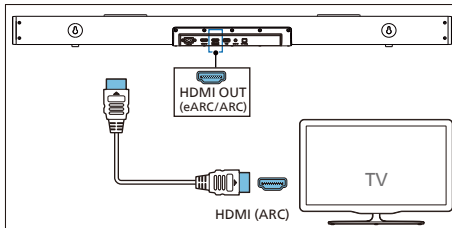
- Dolby Atmos を最大限に体感するには、サウンドバーとソースを HDMI 2.0 ケーブルで接続する必要があります。
- サウンドバーは、他の方法（デジタル光ケーブルなど）で接続しても機能しますが、Dolby のすべての機能をサポートすることはできません。このことを考えると、Dolby を完全にサポートするために、HDMI 経由で接続することをお勧めします。

HDMI 接続

一部の 4K HDR テレビでは、HDR コンテンツを受信するために HDMI 入力や映像の設定が必要な場合があります。HDR ディスプレイの設定の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

オプション 1：HDMI eARC（拡張オーディオリターンチャンネル）

本サウンドバーは eARC/ARC（拡張オーディオリターンチャンネル）対応の HDMI をサポートしています。お使いのテレビが HDMI eARC/ARC に対応していれば、1 本の HDMI ケーブルでテレビの音声をサウンドバーから出力できます。



- 1 テレビで HDMI-CEC 操作をオンにします。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
 - テレビの HDMI ARC コネクタのラベルが異なる場合があります。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

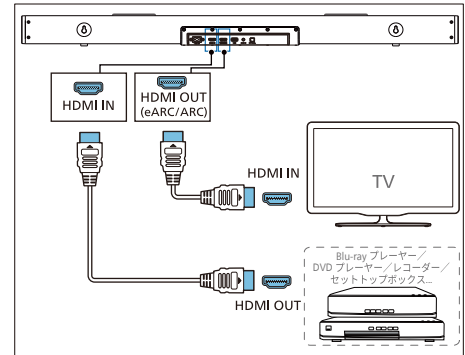
- 2 高速 HDMI ケーブルを使用して、サウンドバーの HDMI eARC コネクタをテレビの HDMI eARC コネクタに接続します。

注

- 音が出ない場合、テレビ側の音声出力を PCM に変更が必要な場合がございます。
- テレビが HDMI-CEC および ARC 機能に対応している必要があります。HDMI-CEC および ARC をオンに設定する必要があります。
- HDMI-CEC と ARC の設定方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC 機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- HDMI ケーブルが ARC 機能に対応していることを確認してください。

オプション 2：標準 HDMI

テレビが HDMI ARC に対応していない場合は、標準の HDMI ケーブルでサウンドバーをテレビに接続します。

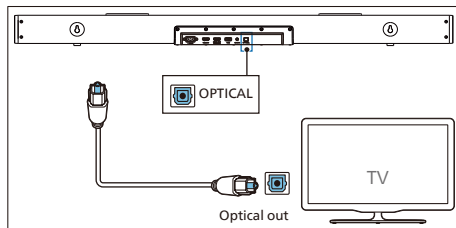


- 1 HDMI ケーブルでサウンドバーの HDMI IN (HDMI 入力) と外部機器（ゲーム機、DVD プレーヤー、Blu-ray など）に接続します。
- 2 HDMI ケーブルでサウンドバーの HDMI OUT (HDMI 出力) (eARC/ARC) とテレビの HDMI 入力に接続します。

光ケーブル接続

- 1 光ケーブルを使用して、サウンドバーの [Optical in (光入力)] とテレビまたはその他の機器の [Optical out (光出力)] に接続します。

※テレビ側の音声設定の変更が必要になることがあります。

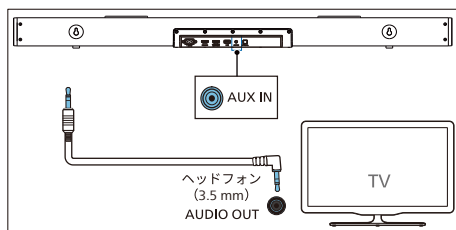


- [Spdif in (Spdif 入力)] または [Spdif out (Spdif 出力)] と表示されているデジタル光もあります。

AUX 接続

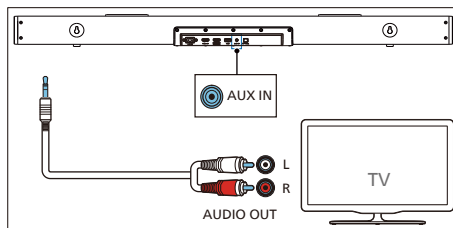
3.5 mm オーディオケーブルを使用する

- 3.5mm のオーディオケーブルを使用してテレビ側のヘッドフォン端子とサウンドバーの [Audio in (オーディオ入力)] に接続します。



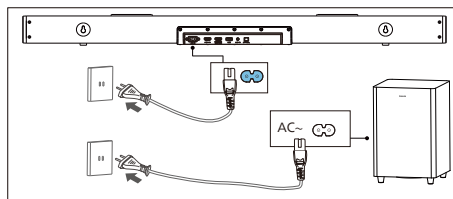
3.5 mm RCA オーディオケーブルを使用する

- 3.5mm RCA オーディオケーブルを使用してテレビのオーディオ出力とサウンドバーの [Audio in (オーディオ入力)] に接続します。



電源への接続

- AC 電源コードを接続する前に、他のすべての接続を完了しておいてください。
- 製品損傷の危険があります。電源電圧が、ユニットの背面または底面に印刷されている電圧と一致していることを確認します。



注

- 電源コードの数とプラグのタイプは地域によって異なります。
- 付属の電源ケーブルは本製品専用になります。他の製品にはご使用できません。

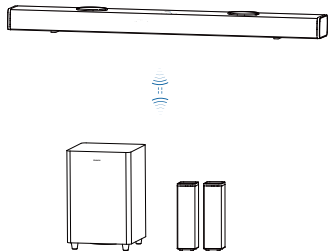
サブウーファーとワイヤレスサラウンドスピーカーのペアリング

* ヒント

- サブウーファーとワイヤレスサラウンドスピーカーは、サウンドバーから 6 m 以内のオープンな場所に設置してください。

自動ペアリング

サウンドバー、サブウーファー、ワイヤレスサラウンドスピーカーを主電源ソケットに接続し、サウンドバーまたはリモコンの「スタンバイ - オン」ボタンを押して機器の電源をオンにします。サブウーファーとワイヤレスサラウンドスピーカーは、サウンドバーと自動的にペアリングされます。



→ ワイヤレスサブウーファーとワイヤレスサラウンドスピーカーのインジケーターステータスを確認します。

LED の状態	ステータス
速く点滅	ペアリング状態に入っている
点灯	ペアリング済み
ゆっくり点滅	ペアリングされていません
非常にゆっくりとした点滅	スタンバイ状態

* ヒント

- 手動ペアリングを実行する場合以外は、サブウーファーの背面にある「Pair（ペアリング）」ボタンを押さないでください。

サブウーファーの手動ペアリング

ワイヤレスサブウーファーから音声が聞こえない場合は、サブウーファーを手動でペアリングします。

- サブウーファーとサウンドバーの両方のケーブルを主電源ソケットからいったん抜いて、3 分後に再度接続します。
- サブウーファーの背面にある「Pair（ペアリング）」ボタンを 3 秒間押し続けます。
→ サブウーファーのインジケーターステータスが速く点滅します。
- サウンドバーまたはリモコンの「ON（オン）」ボタンを押して、サウンドバーを「ON（オン）」にします。
→ 正常に完了すると、サブウーファーのインジケーターステータスが点灯します。
- それでもインジケーターステータスが点滅し続ける場合は、手順 1 ～ 3 を繰り返します。

* ヒント

- サブウーファーは、サウンドバーから 6 m 以内のオープンな場所に設置してください（距離が近いほど確実に動作します）。
- サブウーファーとサウンドバーの間に物があれば取り除いてください。
- ワイヤレス接続が再度失敗する場合は、周辺に競合機器または強い干渉源（電子機器からの干渉など）がないか確認します。これらの競合機器または強力な干渉源を除去し、上記の手順を繰り返します。

サラウンドスピーカーの 手動ペアリング

* ヒント

- 手動ペアリングを行う場合を除き、サラウンドスピーカー背面の **[Reset (リセット)]** ボタンを押さないでください。

ワイヤレスサラウンドスピーカーから音が聞こえない場合は、サラウンドスピーカーを手動でペアリングしてください。

- 1 サラウンドスピーカーとサウンドバーの両方のケーブルを主電源ソケットからいったん抜いて、3 分後に再度接続します。
- 2 サラウンドスピーカー背面の **[Reset (リセット)]** ボタンを 3 秒間長押しします。
↳ サラウンドスピーカーのインジケータがすばやく点滅します。
- 3 サウンドバーまたはリモコンの **⏻** を押して、サウンドバーを **[ON (オン)]** にします。
↳ ペアリングが成功すると、サラウンドスピーカーのインジケータが点灯状態になります。

4 サウンドバー の使用

このセクションでは、サウンドバーを使用して、接続された機器からオーディオを再生する方法について説明します。

作業を開始する前に

- クイックスタートガイドおよび取扱説明書に記載されている必要な接続を行います。
- サウンドバーを他の機器に合わせて正しいソースに切り替えます。

ON と OFF

- まずユニットをコンセントに接続すると、ユニットはスタンバイモードになります。[スタンバイ] インジケータが点灯します。
- リモコンまたはメインユニットの **⏻** ボタンを押して、メインユニットの ON と OFF を切り替えます。
- ユニットを完全にオフにする場合は、コンセントから電源ケーブルを外します。

オートスタンバイ

テレビや外部機器との接続が失われた場合（または USB や BT 再生が一時停止した場合）、または電源がオフになった場合、約 15 分後にユニットは自動的にスタンバイモードになります。

- ユニットを完全にオフにするには、コンセントから電源ケーブルを取り外します。
- 使用していないときは、省エネのためユニットの電源を完全にオフにしてください。

モードの選択

サウンドバーまたはリモコンの  (ソース) ボタンを繰り返し押して、eARC/ARC、OPT、AUX、USB、BT、HDMI モードを選択します。

- 選択したモードがディスプレイに表示されます。

音量の調整

システムの音量の調整

- Vol+/- (音量) を押して、音量を調整します。
- サウンドをミュートするには、 (ミュート) を押します。
- 音声を元に戻すには、もう一度  (ミュート) を押すか、Vol+/Vol- (音量) を押します。

サブウーファースの音量の調整

- サブウーファースの音量を調整するには、(SUB) +/- (サブウーファース) を押します。

リアサラウンドの音量の調整

- メニューボタンを押して [SURR (サラウンドスピーカー)] を選択し、リアサラウンドの音量を調整します。

設定メニュー

ユニットでは、より快適にお使いいただくための詳細設定が可能です。

- 1 リモコンの  (メニュー) ボタンを押してメニューを開きます。
- 2 リモコンの  (左/右) でコンテンツを選択します。
- 3  II 再生ボタンアイコンを押して、選択したモードに入ります。
- 4 カーソル  (上/下) ボタンで、各設定の初期値を変更します。

- 5 前の画面に戻る／設定を終了するには、 (チャンネル切り替え／戻る) を押します。5 秒以内にボタンが押されない場合、システムは自動的にメニューを終了します。

SURR (サラウンドスピーカー)

Lsr (左サラウンド) と Rsr (右サラウンド) の音量を同時に調整します。

- SUR -5 ～ SUR +5
- サラウンドスピーカーの初期設定は 0 です。

BASS (低音)

低音レベルを調整します。

- BAS -5 ～ BAS +5
- BASS (低音) の初期設定は 0 です。

TREBLE (高音)

高音レベルを調整します。

- TRB -5 ～ TRB +5
- TREBLE (高音) の初期設定は 0 です。

AURST (オーディオリセット)

- YES (はい) ／ NO (いいえ)
- AURST (オーディオリセット) の初期設定は NO (いいえ) です。

DOLBY

- 1 S DEC (サラウンドデコーダー)
 - サラウンドデコーダーは、信号を対応する Dolby Audio Processing 構成にアップミックスします。
 - ON (オン) ／ OFF (オフ)
 - S DEC (サラウンドデコーダー) の初期設定は OFF (オフ) です。

2 VIRTU（スピーカーバーチャライザー）

- スピーカーバーチャライザー機能は、頭部伝達関数（HRTF）とクロストークキャンセルを組み合わせて、より臨場感のあるスピーカー配置から音が届いているかのような音場を再現します。スピーカーバーチャライザーを無効にすると、アーティスティックなミックスが適用され、Dolby Atmos 処理は無効になります。

↳ ON（オン）／OFF（オフ）

↳ VIRTU（スピーカーバーチャライザー）の初期設定はON（オン）です。

3 CENSP（センタースプレッド）

- センタースプレッドは、サラウンドデコーダーによって適用されるプロセスです。出力スピーカー配置でセンターチャンネルが要求され、入力信号がステレオの場合、サラウンドデコーダーはセンターチャンネルのコンテンツを左、右、およびセンタースピーカーに分散します。このプロセスは「センタースプレッド」と呼ばれます。センタースプレッドは、センターチャンネルの信号を左右のフロントスピーカーに広げ、よりワイドな音像をリスナーの前方に作り出します。このプロセスは、主にステレオ音楽コンテンツの再生用に最適化・設計されています。センタースプレッドを有効にする場合は、サラウンドデコーダーも有効にしてください。

↳ ON（オン）／OFF（オフ）

↳ CENSP（センタースプレッド）の初期設定はOFF（オフ）です。

SETIN

1 APD（自動電源オフ）

- 選択中のソースでユーザー操作がない状態が 15 分以上続くと、APD（自動電源オフ）が作動します。

↳ ON（オン）／OFF（オフ）

↳ APD（自動電源オフ）の初期設定はON（オン）です。

2 DIMER（明るさ）

ディスプレイの明るさを設定します。

↳ HIGH（高）／MED（中）／LOW（低）

↳ DIMER（明るさ）の初期設定はMED（中）です。

3 DISPY（ディスプレイ自動オフ機能）

- ユーザー操作がない状態が 10 秒続くと、ディスプレイが自動的にオフになります。

↳ ON（オン）：ディスプレイの自動オフ機能をオンに設定します。

↳ OFF（オフ）：ディスプレイの自動オフ機能をオフに設定します。

↳ DISPY（ディスプレイ自動オフ機能）の初期設定はON（オン）です。

SYSTEM（システム）

1 VER（バージョン）

- ソフトウェアバージョンの確認。

↳ ▲／▼（確認）。

2 RESET（リセット）

- 機器を初期設定にリセットします。

↳ YES（はい）／NO（いいえ）

3 UPGRA（アップグレード）

- 通常使用することはございません。トラブルの際のソフトウェアアップデートの際に使用します。

Bluetooth® 操作

Bluetooth を利用して、サウンドバーを Bluetooth 機器（iPad、iPhone、iPod touch、Android、ラップトップなど）に接続し、機器に保存されているオーディオファイルをサウンドバーのスピーカーから聴くことができます。

- 1 サウンドバーまたはリモコンの  ボタンを押して、（Bluetooth）モードを選択します。
→ 表示パネルに「NO BT」と表示されます。
- 2 Bluetooth 機器で Bluetooth をオンにし、**Philips TAB8750** を検索して選択し、接続を開始します（Bluetooth を有効にする方法については、Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください）。
→ 表示パネルに「NO BT」と表示されます。
- 3 サウンドバーから音声ガイドが聞こえるまで待ちます。
→ 接続に成功すると、表示パネルに「BT」と表示されます。
- 4 Bluetooth 機器でオーディオファイルまたは音楽を選択して再生します。
 - 再生中に通話が着信すると、音楽再生が一時停止します。通話が終了すると再生が再開します。
 - Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルをサポートしている場合、リモコンで  /  を押してトラックにスキップしたり、 を押して再生を一時停止／再開したりできます。

Bluetooth を終了する方法

- ユニットを別のソースに切り替えます。
- Bluetooth 機器から機能を無効にします。または、Bluetooth 機器を最大動作範囲外に置きます。音声ガイドが出された後、Bluetooth 機器がユニットから切断されます。
- サウンドバーを別の Bluetooth 機器に接続する場合は、サウンドバーの  ボタンを長押しするか、リモコンの  ボタンを 3 秒間長押しして、現在接続されている Bluetooth 機器との接続を解除してください。

注

- 障害物のないオープンな場所におけるサウンドバーと Bluetooth 機器の最大動作範囲は約 10 m（30 フィート）です。
- すべての Bluetooth 機器との互換性が保証されているわけではありません。
- 機器とサウンドバーの間に障害物があると、音楽のストリーミングが中断される場合があります。たとえば、壁、機器を覆う金属製のケース、または同じ周波数で動作する近くにある他の機器などです。

外部機器での再生

サウンドバーがテレビまたはオーディオ機器に接続されていることを確認します。

- 1 サウンドバーまたはリモコンの **⏮** (ソース) ボタンを繰り返し押しして、**HDMI eARC/ARC、HDMI、OPT** モードを選択します。
↳ サウンドバーのディスプレイには、現在使用中のモードが表示されます。
- 2 オーディオ機器を直接操作して再生機能を有効にします。
- 3 +/- (音量) ボタンを押して、音量を希望のレベルに調整します。

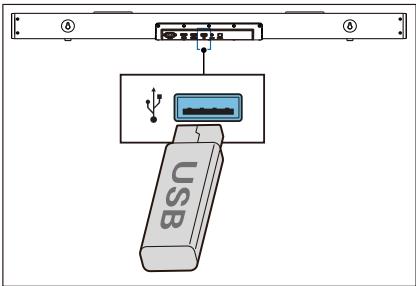
注

- 光／HDMI ARC モードでは、ユニットからの音声出力がないときには、ソース機器 (テレビ、DVD、Blu-ray プレーヤーなど) で PCM または Dolby Digital 信号出力を有効にすることが必要になる場合があります。

USB を使用したオーディオの再生

MP3 プレーヤーや USB フラッシュメモリーなどの USB ストレージ機器でオーディオを楽しむことができます。

- 1 USB 機器を挿入します。



- 2 サウンドバーまたはリモコンの **⏮** (ソース) ボタンを繰り返し押しして、USB モードを選択します。
- 3 再生時には次の操作ができます。

ボタン	操作
▶	再生の開始、一時停止、または再開
◀	前のトラックにスキップ
▶	次のトラックにスキップ

注

- 本製品は、特定のタイプの USB ストレージ機器と互換性がない場合があります。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、または USB 多機能カードリーダーを使用すると、USB ストレージ機器が認識されない場合があります。
- ファイルの読み取り中に USB ストレージ機器を取り外さないでください。
- システムは、最大 128 GB のメモリーを持つ USB 機器をサポートできます。
- このシステムは MP3/WAV/FLAC を再生できません。
- USB ポートのサポート：5 V ≒ 500 mA。
- FAT ファイルシステムのみに対応しています。

5 製品仕様

注

- 仕様および設計は予告なく変更されることがあります。

Bluetooth / ワイヤレス

Bluetooth プロファイル	A2DP、AVRCP
Bluetooth バージョン	V 5.4
Bluetooth 周波数範囲 / 送信機電力 (EIRP)	2402 ~ 2480 MHz < 10 dBm

アンプ部

合計	RMS 485 W @THD <=10% 最大 970 W
----	----------------------------------

サウンドバー

入力：	AC 100 ~ 240 V、 50/60 Hz
消費電力	45 W
スタンバイ時の消費電力	< 0.50 W
周波数応答	180 Hz ~ 20 kHz
スピーカーのインピーダンス	4 Ω × 7
USB ダイレクトバージョン	2.0 フルスピード
USB	5 V = 500 mA
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	980 × 74 × 139 mm
重量	3.2 kg
動作温度	0° C ~ 40° C

サブウーファー

電源	AC 100 ~ 240 V、 50/60 Hz
消費電力	30 W
スタンバイ時の消費電力	< 2 W
周波数応答	35 Hz ~ 180 Hz
インピーダンス	3 Ω
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	238 × 377 × 238 mm
重量	4.31 kg
動作温度	0° C ~ 40° C

サラウンドスピーカー (L & R)

アダプタ	20 V = 1.5 A、30 W
スタンバイ時の消費電力	< 2 W
周波数応答	180 Hz ~ 20 kHz
スピーカーのインピーダンス	4 Ω × 4
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	66 × 235 × 139 mm
重量	1.06 kg × 2
動作温度	0° C ~ 40° C

リモコン

距離 / 角度	6 m / 30°
電池タイプ	単 4 形 (1.5 V × 2)

対応オーディオフォーマット

HDMI eARC	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、 LPCM 7.1.4ch、 Dolby Digital、Dolby Digital plus、 Dolby True HD、Dolby MAT、 Dolby Atmos – Dolby Digital Plus、 Dolby Atmos – TrueHD、 Dolby Atmos – Dolby MAT
HDMI ARC	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、Dolby Digital、Dolby Digital plus、 Dolby Atmos – Dolby Digital Plus
HDMI IN (HDMI 入力)	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、 LPCM 7.1.4ch Dolby Digital、Dolby Digital plus、 Dolby True HD、Dolby MAT、 Dolby Atmos – Dolby Digital Plus、 Dolby Atmos – TrueHD、 Dolby Atmos – Dolby MAT
Optical (光)	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、Dolby Digital
Bluetooth	SBC
USB	MP3/WAV/FLAC

6 トラブルシューティング



警告

- 感電の危険がありますので、本製品のケーシングは絶対に取り外さないでください。

保証の効力を失わないためにも、本製品は絶対に自力で修理しようとししないでください。

本製品を使用していて、故障かな、と思った場合でも、次のような点を確認した上で修理を依頼してください。それでも問題が解決しない場合は、以下でサポートを依頼してください。www.philips.com/support

メインユニット

メインユニットのボタンが機能しない

- 電源から数分間電源ケーブルを取り外し、それからもう一度接続します。

電源が入らない

- ACコードが正しく接続されているようにします。
- コンセントは電力が確実に来ているものを選びます。
- リモコンまたはサウンドバーの  ボタンを押して、サウンドバーをオンにします。

サウンド

サウンドバーから音が出ない。

- サウンドバーのオーディオケーブルをテレビやその他の機器に接続します。ただし、次の場合は、別のオーディオ接続は必要ありません。
 - サウンドバーとテレビが HDMI ARC 接続によって接続されている。
 - 機器がサウンドバーの HDMI IN (HDMI 入力) コネクタに接続されている。
- リモコンで、正しいオーディオ入力を選択します。
- サウンドバーがミュートになっていないことを確認します。
- HDMI のケーブル交換してみる。
※使用する HDMI ケーブルは、バージョン 2.1 が推奨になります。
- テレビと接続している場合、サウンドバー以外の周辺機器を外す。
- テレビとサウンドバーを電源を切って、電源を入れなおす。

サウンドがひずむ、あるいはエコーがかかる

- オーディオをテレビから本製品で再生する場合は、テレビをミュートにしておきます。

ワイヤレスサブウーファーから音が出ない

- サブウーファーをメインユニットに手動で接続します。
- 音量を上げます。リモコンまたはサウンドバーの「+」(音量を上げる)を押します。
- いずれかのデジタル入力を使用しているときに音声が出ない場合には、次のようにします。
 - テレビ出力を PCM に設定してみる。
 - Blu-ray / その他のソースに直接接続する。
 - 一部のテレビがデジタルオーディオに対応していない。

- テレビが可変オーディオ出力に設定されている可能性があります。オーディオ出力設定が「VARIABLE (可変)」ではなく、「FIXED (固定)」または「STANDARD (標準)」に設定されていることを確認します。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- Bluetooth を使用している場合は、ソース機器で音量が上げられており、ミュートされていないことを確認します。

Bluetooth

機器をサウンドバーに接続できない

- 機器がサウンドバーに必要な互換性のあるプロファイルに対応していません。
- 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。機能を有効にする方法については、機器の取扱説明書を参照してください。
- 機器が正しく接続されていません。機器を正しく接続してください。
- サウンドバーはすでに別の Bluetooth 機器に接続されています。接続されている機器を切断してから、再試行してください。

接続された Bluetooth 機器からのオーディオ再生の品質が良くない

- Bluetooth の受信状態が良くありません。機器をサウンドバーの近くに移動させるか、機器とサウンドバーの間に障害物があればそれを取り除きます。

Bluetooth 機器でこのユニットの Bluetooth 名が見つからない

- Bluetooth 機器で Bluetooth 機能が有効になっていることを確認します。
- ユニットと Bluetooth 機器を再度ペアリングします。

リモコンが機能しない

- 再生コントロールボタンを押す前に、まず正しいソースを選択してください。
- リモコンとユニットの距離をさらに近づけます。
- 図に示すように、電池を正しい極性 (+/-) にして挿入します。
- 電池を交換します。
- リモコンをユニット前面のセンサーにまっすぐ向けて操作します。

サブウーファーがアイドル状態になっているか、サブウーファーのインジケーターが点灯しない

- 主電源ソケットから電源コードを抜き、3 分後にもう一度電源コードを接続して、サブウーファーをリセットします。

7 商標



Adopted Trademarks HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI トレードドレス、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



Dolby、Dolby Atmos、および 2 つの D の記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。Dolby Laboratories からのライセンスを受けて製造されています。Confidential unpublished works. Copyright © 2012–2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited によるこれらの商標の使用はライセンスを受けています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者のものです。

本製品の使用方法の詳細については、www.philips.co.jp にアクセスしてください。

8 保証書

保証書

品名	Philips サウンドバー
品番	TAB8750/11
保証期間	お買い上げ日より 12 ヶ月間
対象部分	本体
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒
	お名前
	電話番号
販売店	販売店名・住所・電話番号

カスタマーサービスについて

フリーダイヤル:0120-215-625

有料ダイヤル:072-275-8886 (IP電話／携帯電話からおかけになる場合はこちらをご利用ください)

営業時間:10:00~12:00／13:00~17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く)

※ お困りの際は、お電話または商品ページの「お問い合わせフォーム」よりご連絡ください。

販売元:株式会社RichGo-Japan

〒590-0012

大阪府堺市堺区浅香山町3-9-11



仕様は予告なく変更されることがあります。

最新のアップデートとドキュメントについては、www.Philips.com/support をご覧ください。

Philips および Philips Shield のエンブレムは Koninklijke Philips N.V. の登録商標であり、ライセンスを受けて使用されています。

本製品は MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任において製造され、販売されています。MMD Hong Kong Holding Limited は、本製品に関する保証者です。

